

12/22  
水曜

# 核禁条約 日本は参加を 被団協 署名65.7万人分 首相に提出



核兵器禁止条約の批准を求める署名を担当會(右端)に提出し、要請する日本被団協の人たれ=21日、外務省

「世界に向かって日本政府は被爆者の気持ちをきちんと言えてほしい」と求めました。ヒロシマ・ナガサキの惨禍を繰り返してはいけないとできた日本国憲法が、多くの被爆者の生きる支えになつていると強調し「いま憲法を変えてはいけない」と訴えました。今年1月から2月末までに全国から寄せられた署名の重みを語り「ヨーロッパでもアメリカでも日本でも禁止条約に参加せよとの国民の声が7割以上ある。これは偶然じゃない」と語ったと報告しました。

児玉事務局次長は、来年3月の禁止条約第1回締約国会議への日本政府不参加についてただしたが、政府の姿勢は変わらなかつたと報告しました。

日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)は21日、外務省を訪れ、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名第一次集約65万7千74人分を岸田文雄首相あてに提出しました。

木戸等市事務局長は、今た。外務省の担当者が「署名は確かに受け取りました」と述べると児玉三智子事務局次長は「総理に渡してください」と意を押しました。

日本被団協の家島昌志代表理事、和田征子、濱住治郎、瀬中紀子の各事務局次長が参加しました。